

運輸サービス業界

2008年上期の回顧と下期の展望

2008.8.7



航空業界 – 2008年上期の回顧

■ 旅客需要

- ・国内：2,557万人(対前年+10,2%)
- ・国際：314万人(対前年+13,5%)

■ 北米・ヨーロッパ方面 178万人(対前年+11,6%)

■ 国内線マーケットシェア激化 (新興キャリアの台頭)



航空業界 – 2008年下期の展望

- 燃油費の更なる高騰(07年平均 \$ 86.93)
→ \$ 170 ~ \$ 180
- インフレ傾向は航空需要に影響？
- ガルーリョス(GRU)空港駐機料の値上げは？



海運業界 – 2008年上期の回顧

- 強いリアル通貨は、トレードのインバランスを加速
(アジアからの輸入スペースはタイト感を強める)
- 不定期船市況の高騰
- 燃料油価格の暴騰
(07年6月 360ドル→08年7月700ドル超)
北米東岸／南米東岸トレードでサービス撤退相次ぐ
- 各船社スケジュール維持に苦慮
- 新税関システム(SYSCARGA)導入



海運業界 – 2008年下期の展望

- トレード・インバランスは続く。
- スペース需給はタイト感継続。
- 不定期船市況は高水準を維持模様。
- 燃料費はまだまだ上昇。



フォワーダー業界 – 2008年上期の回顧

- 日本発航空貨物実績
 - 全世界向け 633千トン(対前年同期比 +0.7%)
 - 米州向け 134千トン(対前年同期比▲7.9%)
 - その他米州(主にブラジル) 9,5千トン(対前年+25.0%)
- 税関ストライキにより空港も港湾も大混乱(コスト増を招く)
- SISCARGA導入で遅延発生
- 製鉄構内物流
 - 好調なブラジル鉄鋼業界に支えられ、構内作業も順調に推移。3年先まで制約済み
- クーリエ部門は、輸入物件微増、輸出物件10%増。



フォワーダー業界 – 2008年下期の展望

- ブラジル経済好調に支えられ輸出入とも好調と予想。
- サンパウロ市のトラック走行規制
- 原油価格高騰は航空貨物のベースレートを押し上げ
- SISCARGA「罰金に関しては産業界全体で取り組む必要がある。」

- 製鉄構内物流及び整備作業は、鉄鋼業の活発な生産活動により、引続き順調に推移する。一方労働市場は深刻化



旅行、ホテル業界 – 2008年上期の回顧

■ 海外旅行

海外旅行は順調な伸び。ドル安レアル高により、国際線航空券を買い求め安くなっている。逆に旅行業界・航空業界は厳しい状況。

■ 国内旅行

大手パッケージ会社（CVC、レックスツール等）が企画販売する国内パッケージ商品が順調な伸び。

■ ホテル

ブラジルを訪れる外国人は3.4%アップ加えて国内旅行も3.6%のアップで、ホテル業界は好調



旅行、ホテル業界 – 2008年下期の展望

■ 海外旅行

レアル高が続いている現状では、今後も伸び続ける傾向。ブラジル訪問客は、ブラジルの治安、物価高が影響し、伸び悩み。移民100周年での日本からの訪問客は順調に伸張。

■ 国内旅行

ブラジル経済好調により、需要拡大を予測。各都市(特に地方都市)での観光事業の環境整備(ホテル、車両、レストラン、セキュレティー等)や空港施設の整備が課題。

■ ホテル

新たに132のホテルがオープンし、15000人が雇用可能となる。

■ 空港問題が大きな課題。



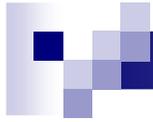
通信業界 – 2008年上期の回顧

- <通信> 携帯電話加入者数(Jun/08) 1億3300万台
(世界5位) 81.03%がプリペイド方式。
VIVO:30.36%、TIM:25.40%、CLARO:24.87%、
OI:15.24% その他:4.13%
- <IT> Nota Fiscalの電子化(ICMS税) 2000万枚を実現。
タバコ産業・石油業種が電子発行義務付け
インターネット ブラジル人口の22.5%がアクセス
ユーザー数(Jun/08) 2290万人



通信業界 – 2008年下期の展望

- 3G対応のiPhone (Apple社)をClaroが販売開始する予定。
- 旧TelemarのOiが、Brasil Telecomを買収予定。合併が成立するとブラジル資本の巨大電話会社が誕生する。
- インターネット回線→バックアップの整備が加速



ご清聴ありがとうございました